

第2回 京奈和自動車道（大和北道路）環境影響評価 検討専門部会（現地視察）について（議事要旨）

1. 開催日時

平成16年6月14日（月） 14:00～17:30

2. 開催場所

奈良県経済倶楽部 大会議室
現地（奈良市、大和郡山市）

3. 出席者

池田有光、大西有三、小船武司、○斎藤峻彦、瀬林伝、高田研一、水野正好、
梁瀬度子（欠席 西田正憲） <敬称略、五十音順、○印は部会長>

4. 議事

（1）行程説明

事務局より行程説明を行った。

（2）現地視察（奈良市、大和郡山市）

大和北道路の周辺地区の土地利用、景観、自然等の状況を概略的に把握し、今後の環境影響評価の検討の参考とするため、現地視察を行った。

「現地視察ルート」：①木津IC付近、②平城宮跡、③国道24号バイパス
④西名阪JCT付近、⑤大池付近
⑥（都）西九条佐保線付近、⑦JR奈良駅付近

委員からは、以下の発言があった。

○道路の位置・構造の具体化を図った時点で、再度、現地視察すべきである。

○トンネル案とした場合の坑口、換気塔及びインターチェンジ等は、形状、周辺住民や動物等への影響を十分検討する必要がある。

○有識者委員会等でのルート・構造の検討は、十分議論がなされ、環境や交通に対して、よく考えられているものである。

○平城京城は予想以上に都市化が進み、地下水の問題は、道路だけでなく、都市化による影響など総合的に検討する必要がある。

○坑口付近での用地確保において、環境保全対策の工夫も必要である。

なお、本日欠席の西田委員は事前に視察頂き（6月10日）、次の意見を頂いた。

○景観については、遠景と近景に分けて検討する必要がある。